

西新宿七丁目町会新聞

夏期行事盛大裡に終了

平成 22 年 11 月 25 日発行

第 47 号

西新宿七丁目町会編集委員会



今年も新宿警察署の交通課の係官より
ご指導をいただきありがとうございました

去る 8 月 22 日（日）、夏休みの恒例行事、青年部主催の子供縁日が柏木公園にて行われました。異常気象のせいから 7 月のうちから 40 度を超える猛暑日が続く日本各地で熱中症で老若男女が倒れる事故が多発するなど本日に暑い夏でした。そんなことから縁日当日は子供達が遊びに来てくれるか？ 当日を迎えるまで不安でしたが、飛び跳ねながら公園に駆け込んで来る子供達を見て、それは杞憂に終わりました。そんな子供縁日の出し物が、毎回少しずつ変化している事にお気づきでしょうか？ 色々な出し物がありますが、子供達の声をもとに各担当者が今年の反省と来年への提案をしています。人気の高い輪投げや射的、鬼退治の景品は、毎回各担当役員が子供達の喜び具合をチェックして来年の景品を決めています。スーパードミノの年によって変化させています。焼きそばのソースや調味料も思案を重ねている段階で、毎年違った調味料を使って出店しています。金魚すくいの金魚にも仕入れる数、種類、大きさなども変化させています。その中でも今年一番の新たな試みはキャラメルポップコーンと色つき綿アメでした。色つき綿アメに関しては色が薄いせいなのか反響がありませんでしたが、キャラメルポップコーンは全く新しい甘さなのか売れ行きは上々でした。子供達は正直です。こんな純粋な子供達の声、反応をしっかりと受け止めて来年は今年よりも、さらに楽しい子供縁日を開催していきたいと思っています。



ゲーム"わなげ"で楽しむ



ゲーム、色鮮やかなヨーヨー風船

子供縁日開催!!

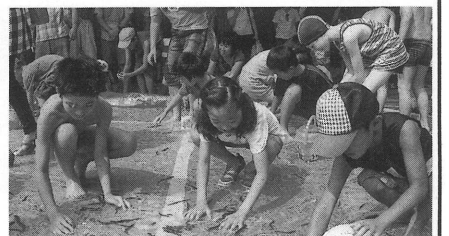
青年部主催

青年部 渡辺 望博

「あつい！ とにかくあつい！」
これが今年の夏の印象です。
そんな中、ラジオ体操会が 7 月 21 日から 8 月 3 日まで開かれました。
4 町合同の夏季行事の一つであるラジオ体操会が、今年も七丁目町会の担当であります。朝 7 時開始の 10 分、15 分前から人々が集まり始めました。初日は、各町会の長の方の挨拶があり、ラジオ体操第一、第二と続きます。これから二週間に亘り毎朝行っていく予定です。今年は雨の為に、中止（危ない日はありましたが）になる事もなく無事最終日を迎える事が出来ました。

最終日には子供達に賞状、お菓子が配られました。貰った子供達がうれしそうに帰る姿がなんともいいですね。こちらもうれしくなりました。
この期間だけでも、夜更かしせずに早起きしては如何ですか？ 気持ちいいです。
子供達の元気な姿を見てみると、こちらも元氣になれますよ。多くの方の参加を待っています。
最後に、参加された皆様、お手伝い頂いた皆様ほんとうにお疲れ様でした。次回も宜しくお願い致します。

今年も元気にラジオ体操 1, 2, 3



どじょうつかみは楽しいね！

どじょうつかみ大会 消防と親しむ会

今年も夏休み恒例の「消防と親しむ会」が、7 月 24 日土曜日に、西新宿中学校で行われました。
今年の夏は暑さが厳しく、当日も太陽がキラキラと輝いていました。
そろそろ会が始まるという時、会のために校庭に待機していた消防自動車が出て行ってしまうました。どうしたのかと思っていたら、火事が発生して応援のために出動したとのことでした。
新宿消防署の西新宿出張所の秦昌張所長より、①家庭用警報器の取り付けが義務化。②義務化に乗じて、詐欺を働く者がいるので気をつけること。との話がありました。
そして、消火器の取り扱いの実演。参加者が交替で仮想火元へ放水。「火事だー」と大声で叫んでから、火元へ放水に、皆さん上手に消火が出来たようです。

青年部 檜川 美鈴

無我夢中の心境

青年部部長 渡辺 重信

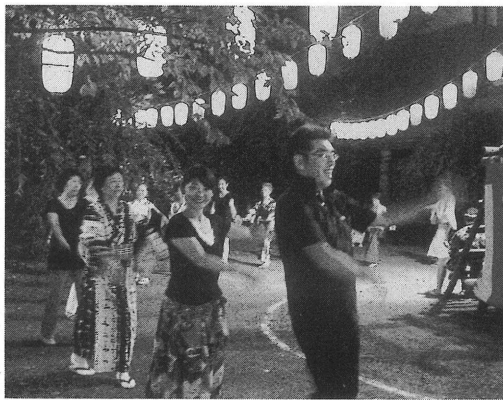
一週間前から食欲がない！
とうとう9月23日、祭りの日を迎えてしま
った。
はじめて神輿渡御長など、このような大役
をこの私に出来るのか！かなり緊張する。
なんと雨ではないか！降ったり止んだりな
らまだ知らず、降ったり！降ったり！時
間を増すごとに雨は強くなる。ああ神さま、
天神さま、林英夫さま、どうかお守り下さい。
残念ながら子供神輿は中止となった。
柏木公園神酒所に於いて、渡御長の挨拶一
本締めで早速まごつき、統括がフォローして
下さる。哀れ、大神輿もビニールシートでレ

インコート姿、拍子木の打ち方、動かし方
等諸先輩の方々に御教示を頂きながら悪天
候にもかかわらず、大勢の方々、また外国の
方々も参加して頂き感謝、感謝です。
神酒所に戻ってから、また何度も何度も湯
み、冷たい雨の中、担ぎ手の方々の熱気で湯
気がたつた事はなかなかの圧巻でした。
最後に総代、統括、町会、婦人部、新宿署、
青年部の皆様、冷たい雨の中、皆様の多なる
お力をお借りしまして本当にありがとうございます。
来年は、晴れる！雨男と言われない様に
来年は晴れますように。

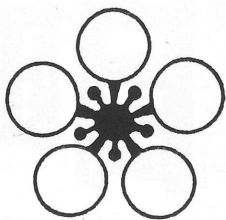


ご一同様とても素敵です

厚生事業部部長 林 正誠



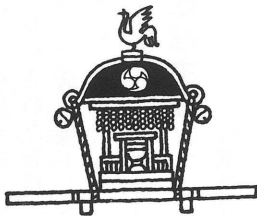
成子神社境内にて



平成二十二年

成子天神社祭禮

仲下睦



盆踊り大会

今年も恒例の盆踊りが8月24・25日の両日に行われ
ました。
今回は夕立も無く良かったのですが、暑さは例年の通
りでした。
盆踊りも成子天神社の工事の都合で今回が当面最後
になるのでは……との懸念の中での開催になりました
が、今回の開催については不明です。ただ前例としてや
はり成子天神の工事で一回のみ柏木公園で行われた事
が有りましたが、今後については、ヤグラの問題（保管
場所等）とか露天を公園内に出せるのかとの難問が有
ります。
次回の盆踊りは成子天神の工事の様子を見ながらの今
後の予定を立てていきます。
会場でお手伝いして頂いた皆様にはお礼を申し上げます。
ありがとうございます。



成子天神神社の宮司様と仲下睦総代



雨天の中でしたが今年も元気に担ぐ



神酒所前にて仲下睦のご一同



雨の中、仲下睦の神輿は舞う



勇壮なる仲下睦の大神輿

青年部 だより

創立40周年祝賀会を開催！

青年部40周年記念行事を迎えて

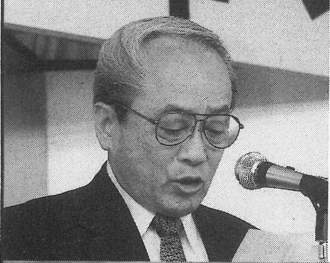
青年部部長 渡辺 重信



6月27日曜日、京王プラザホテルにて、青年部40周年記念行事を無事に迎えることができました。当日は大勢の皆様にご臨席いただきまして誠にありがとうございました。青年部40周年記念行事は数年前から部の記念行事として、大きい柱に位置づけられており、式典当日の様子はこれより紹介させていただきます。また、記念行事にさまざまなプランを考えておりました。わたくしの挨拶にはじまり、記念行事がはじまりました。まず小林町会のご祝辞をいただき、初代青年部部長の石川慶太郎様のご挨拶！ 青年部の創設について当時の歴史を振り返りながら、饒舌なお言葉で、皆聞き入りました。当時の青年部員の諸先輩方をフルネームで覚えられている点や、正確な記憶はビックリするほどで、青年部一同、さすがの一言！ 感謝いたしました。続いて、来賓のご挨拶。代表として、わが青年部出身の出世頭、現東京都議会議員の吉住健一先生にお言葉をいただき、同時に青年部活動などについてお話をいただきました。そして、歴代青年部部長の小林正典、奥平親睦会会長により乾杯の発声とともに、中盤を迎えます。ここで、司会を、滝良仁総務部長から青年部ムードメーカー中村和由副部長にバトンタッチ！ 歴代青年部部長の紹介にはじまり、それぞれの青年部長時代のスライドショーを背景に会場は、なつかしい思い出と当時の武勇伝、そして、数々の歴史あるイベントや行事について、ページをめくり返すように、話が盛り上がり、あまの盛り上がり、石川慶太郎初代青年部部長が御席をスクリーンの前に移され身を乗り出すように、個別解説が始まり、素敵なパフォーマンスで会場一同、大笑い！ 青年部40年のあゆみを初代青年部部長が解説いただき大変恐縮かつ光栄でありました。スライドショーは青年部員が数ある歴史的写真の中から厳選に厳選を重ねて選ばれた、えりすぐりの決定的ショットです。やった甲斐がありました。会はその後、しばし和やかなムードの中、中締め、閉会の辞を経て無事に終わることができました。さらに40周年記念の品として、これも青年部員が検討に検討を重ねた「扇子」を記念品として皆様にお配りさせていただきました。この扇子はお祭り、イベント時に皆さんが共通してお使いいただける、七丁目の団結を表すものとして製作したものです。皆様に普段使いで愛用いただければ大変嬉しく思います。

40周年記念行事を通して七丁目青年部の長い歴史に対して、歴代青年部部長が一生懸命がんばって築きあげられたことに感謝いたしますとともに、青年部長として今後より一層盛り上げる努力に邁進していく責を感じました。最後に、40周年記念行事が無事に終了できましたことは、毎晩遅くまで、時間を見つけて集まってくださいました青年部員に感謝いたしますとともに、数々の青年部の歴史の資料をお借りいただきました諸先輩方に厚く御礼を申し上げます。

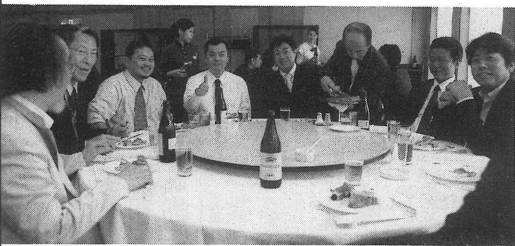
お祝いの
言葉を述べる
小林孝一
町会長



乾杯で祝う



ご来賓のみなさん



歴代青年部 部長



地域社会の発展に奉仕する 青年部の活躍に拍手を贈る

初代部長 石川 慶太郎

昭和46年西新宿七丁目町会青年部が誕生いたしました以来早や40周年を迎え記念式典を行いましたこと心からお慶びを申し上げます。初代青年部部長を仰せつかりました私にとりましては、長い間町会の皆さまの温かいご配慮ご理解と、青年部員皆さんのご協力により現在では、立派に成長されましたことに、心よりお礼の言葉を申し上げます。この方なくしては語ることもできませんし、また忘れることもできません。その人は、故高須前会長さんです。現在の西新宿七丁目町会には、40年前までは柏木地区と称しておりましたが、西新宿七丁目と変更されたのが故高須前町会長であり、故高須さんが初代の町会長に就任されました。故高須さんは温厚篤実である反面、極めて情熱家でありまた信念の方でございました。故高須さんが町会長に就任されると同時に、この町の発展には後継者が必要で、そのためには何んと申しまして若い力の結集を図る以外にない、と力説され直ちに町会の発展に必要な各種の施策を樹立され、新風を吹き込んだ新しい町づくりに、情熱を燃やして活動されたのであります。この方こそ正に西新宿七丁目町会並びに町会青年部の産みの親であり育ての親と申しても過言ではございません。故高須さんが町会長に就任されて間もない某日、私を呼んで「君青年部をつくってくれ」と言われ、私もご期待に副うべく一生懸命努力し、荒井さん、故桜井さん、浅井さん、その他大勢の方々のご協力をいただきました。そして発起人会議を数回重ねましたのち、創立総会を常円寺を会場に、16名の人員だったかと記憶しておりますが、西新宿七丁目町会青年部を結成いたしました。晴れの結成式の日には故高須さんもご出席になり、多額のお祝金をいただきました。その後誕生した青年部を、町会の皆さまに見ていただきたく、いろいろと構想を練り思い浮び上ったのがまず成子神社の祭典のことでした。長年眠っていた祭典を復活させようと、故高須さんに相談いたしましたところ、町は明るくなり活気は漲るし、青年部員の団結のために心を一つに結集することが大切で、誠に結構であると快諾を得ましたので、早速5月頃から祭典の準備にとりかかりました。故高須さんを総指揮者に仰ぎ、天神社の総代さんは高須さんをお願いし、私は各睦の方々を相談いたしました。そのときの年番は、坂下神選講でしたので、坂下の神輿を総町神輿にいたしました。そして青梅街道をお祭広場に予定したので、山形県の花笠音頭を見に行き採り入れました。8月5日6日上山温泉に一泊の旅行をいたしました。そのときの参加者、故高須さん、故小野（金）さん、故鈴木成市さん、そして私石川と4組の夫婦連れ8人が、山形の今のきらやか銀行のご寄贈によるもので、故皆川支店長自ら銀行の二階で踊りの手ほどきをご指導いただきました。そのようなことで花笠踊りは、町会のご婦人方が手習いいたしました。また神輿の方は青年部が担当し、青年部長が責任者として渡御することにいたしました。その時町会青年部はできていたましたが、仲睦青年部がなかったもので、大急ぎでつくる必要に迫られたのです。そして七丁目町会青年部をお受けした方は、統制上から便宜的に仲睦青年部長も町会青年部長も、両方の部長を兼任することに決定いたしました。以後は毎年練習練習と称して神輿を出すようになりました。現在青年部をつくつてよかったなあと思ひますのは、毎年お祭りシーズンが訪れるたびに、昔から伝わる祭典を眠ったままにしては先輩に申しわけないと思つて、祭典を復活させたこと、青年部がそれによって一致協力して団結できたキッカケをつくつたこと、現在まで青年部がいろいろな行事を行つておりますが、最初に採り上げた行事であるだけに、いままさに立派に成長されたいと思ひます。誠に感慨無量なものがございまして、心からお礼の言葉を申し上げます。青年部、立派に育つていただけた町会の皆さま方に、難うございました。

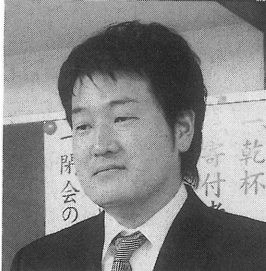
昭和46年西新宿七丁目町会青年部が誕生いたしました以来早や40周年を迎え記念式典を行いましたこと心からお慶びを申し上げます。初代青年部部長を仰せつかりました私にとりましては、長い間町会の皆さまの温かいご配慮ご理解と、青年部員皆さんのご協力により現在では、立派に成長されましたことに、心よりお礼の言葉を申し上げます。この方なくしては語ることもできませんし、また忘れることもできません。その人は、故高須前会長さんです。現在の西新宿七丁目町会には、40年前までは柏木地区と称しておりましたが、西新宿七丁目と変更されたのが故高須前町会長であり、故高須さんが初代の町会長に就任されました。故高須さんは温厚篤実である反面、極めて情熱家でありまた信念の方でございました。故高須さんが町会長に就任されると同時に、この町の発展には後継者が必要で、そのためには何んと申しまして若い力の結集を図る以外にない、と力説され直ちに町会の発展に必要な各種の施策を樹立され、新風を吹き込んだ新しい町づくりに、情熱を燃やして活動されたのであります。この方こそ正に西新宿七丁目町会並びに町会青年部の産みの親であり育ての親と申しても過言ではございません。故高須さんが町会長に就任されて間もない某日、私を呼んで「君青年部をつくってくれ」と言われ、私もご期待に副うべく一生懸命努力し、荒井さん、故桜井さん、浅井さん、その他大勢の方々のご協力をいただきました。そして発起人会議を数回重ねましたのち、創立総会を常円寺を会場に、16名の人員だったかと記憶しておりますが、西新宿七丁目町会青年部を結成いたしました。晴れの結成式の日には故高須さんもご出席になり、多額のお祝金をいただきました。その後誕生した青年部を、町会の皆さまに見ていただきたく、いろいろと構想を練り思い浮び上ったのがまず成子神社の祭典のことでした。長年眠っていた祭典を復活させようと、故高須さんに相談いたしましたところ、町は明るくなり活気は漲るし、青年部員の団結のために心を一つに結集することが大切で、誠に結構であると快諾を得ましたので、早速5月頃から祭典の準備にとりかかりました。故高須さんを総指揮者に仰ぎ、天神社の総代さんは高須さんをお願いし、私は各睦の方々を相談いたしました。そのときの年番は、坂下神選講でしたので、坂下の神輿を総町神輿にいたしました。そして青梅街道をお祭広場に予定したので、山形県の花笠音頭を見に行き採り入れました。8月5日6日上山温泉に一泊の旅行をいたしました。そのときの参加者、故高須さん、故小野（金）さん、故鈴木成市さん、そして私石川と4組の夫婦連れ8人が、山形の今のきらやか銀行のご寄贈によるもので、故皆川支店長自ら銀行の二階で踊りの手ほどきをご指導いただきました。そのようなことで花笠踊りは、町会のご婦人方が手習いいたしました。また神輿の方は青年部が担当し、青年部長が責任者として渡御することにいたしました。その時町会青年部はできていたましたが、仲睦青年部がなかったもので、大急ぎでつくる必要に迫られたのです。そして七丁目町会青年部をお受けした方は、統制上から便宜的に仲睦青年部長も町会青年部長も、両方の部長を兼任することに決定いたしました。以後は毎年練習練習と称して神輿を出すようになりました。現在青年部をつくつてよかったなあと思ひますのは、毎年お祭りシーズンが訪れるたびに、昔から伝わる祭典を眠ったままにしては先輩に申しわけないと思つて、祭典を復活させたこと、青年部がそれによって一致協力して団結できたキッカケをつくつたこと、現在まで青年部がいろいろな行事を行つておりますが、最初に採り上げた行事であるだけに、いままさに立派に成長されたいと思ひます。誠に感慨無量なものがございまして、心からお礼の言葉を申し上げます。青年部、立派に育つていただけた町会の皆さま方に、難うございました。

第40回 総会開催す

平成 22 年 10 月 17 日 実施



懇親会



渡辺青年部長

平成 21 年度第 39 回事業経過報告書

自平成 21 年 10 月 1 日 至平成 22 年 9 月 30 日

- 10月18日 平成21年度青年部総会及び懇親会
総会 於「町会会館」 部員出席者23名
懇親会 於「ホテルローズガーデン」 部員出席者23名 来賓23名

- 11月8日 トライアングル会 於「ミラノボール」
参加団体
西新宿1丁目町会青年部 西新宿6丁目町会青年部
西新宿8丁目町会青年部 新宿成子商店街振興組合青年部
西新宿7丁目町会青年部 新宿広小路会青年部
西新宿一新会 西新会

- 11月29日 忘年会 於「とんかつ喜多味」
一年の労をねぎらうことができました。

- 12月13日 クリスマスパティー会 於「再来宴」
同好会にて開催

- 12月3日～1月29日 第37回防火防犯パトロールに協力
今回で37回を迎えた防火防犯パトロール、これまで無事故でこれたのも町会の皆様の真面目な気持ちの現れです。青年部と致しましても、より一層の努力をする覚悟でございます。
パトロール参加人数 述べ220名

- 1月31日 第37回防火防犯パトロール打ち上げ慰労会に協力
於「町会会館」

- 2月21日 新年会 於「土風炉」
参加者 33名

- 4月18日 トライアングル会 於「北新宿公園」
今回はグラウンドゴルフを他町会の青年部の方々と行いました。
参加団体
西新宿1丁目町会青年部 西新宿6丁目町会青年部
西新宿8丁目町会青年部 新宿成子商店街振興組合青年部
西新宿7丁目町会青年部 新宿広小路会青年部
西新宿一新会 西新会

- 6月27日 西新宿七丁目町会青年部40周年記念祝賀会
於「京王プラザホテル」
今年は青年部40周年という節目を迎え、70名近くの参加者で40年分の昔話に浸りながら大いに盛り上がりました。

- 夏休み 四町会合同夏期行事へ協力
・7月21日～8月3日 ラジオ体操会（西新宿中学校）
・7月24日 消防と親しむ会（西新宿中学校）
・8月24日～8月25日 盆踊り大会（成子天神社）

- 8月22日 子供縁日 於「柏木公園」
町会の皆様、部員の皆様のご協力により無事開催できました。
ご協力ありがとうございました。

- 9月22日～26日 成子天神社 祭礼
仲下睦青年部へ協力。
22日 設営・御霊遷し
23日 大・中・小 神輿町内渡御
25日 御霊還し
26日 撤去・鉢あらい

- 月例会 11回 ○臨時部会 4回 ○以上の他各町会行事へ協力
○近隣青年部との交流



役員一同



総会開催

第 39 回収支計算書及び 第 40 回収支計画案、事業計画案

西新宿七丁目町会青年部 平成 21 年度 収 支 計 算 書

収 入 の 部		支 出 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
前期繰越金 預 金	568,226	総 会 費 用	497,256
前期繰越金 現 金	293,578	厚 生 費	2,151,712
前 期 部 費 収 入	0	会 場 費	39,000
当 期 部 費 収 入	356,000	事 務 通 信 費	6,043
特別会費	190,000	印 刷 費	69,940
繰 日 売 上	74,300	冠 婚 葬 祭 費	20,000
寄 付 金	2,004,000	交 際 費	117,269
町 会 補 助 金	500,000		
雑 収 入	3,277		
地 域 協 働 事 業 助 成 金	100,000	次期繰越金 現 金	519,935
貯 金 利 息	124	次期繰越金 預 金	668,350
合 計	4,089,505	合 計	4,089,505

西 新 宿 七 丁 目 町 会 青 年 部 平 成 22 年 度 収 支 計 画 書

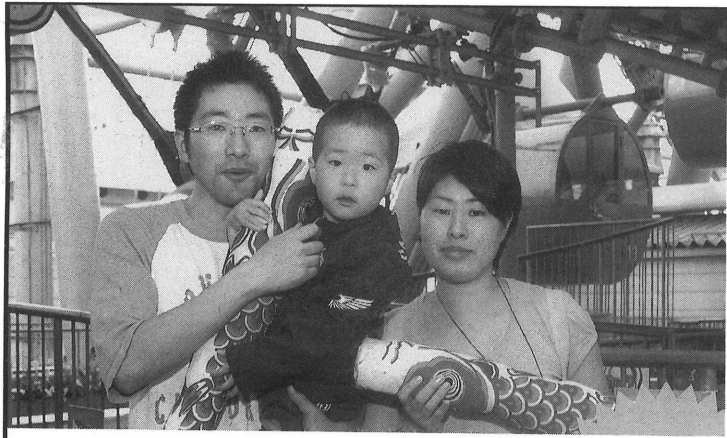
収 入 の 部		支 出 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
前期繰越金	1,188,285	総 会 費 用	700,000
部 費 収 入 (6000×67名)	402,000	厚 生 費	1,000,000
特別会費・繰日売上げ	605,422	会 場 費	60,000
町 会 補 助 金	500,000	印 刷 費	500,000
地 域 協 働 事 業 助 成 金	100,000	事 務 通 信 費	70,000
		交 際 費	200,000
		予 備 費	265,707
合 計	2,795,707	合 計	2,795,707

平 成 22 年 度 事 業 計 画 書

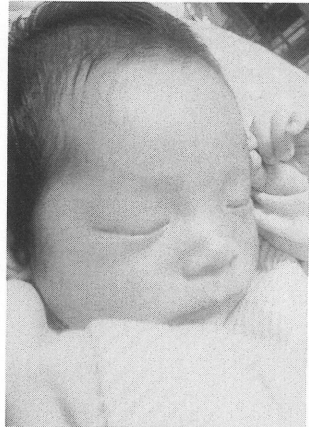
- | | |
|--|--|
| 1. 町会事業に協力
1. 部員の親睦
1. 毎月1回例会役員会を開催
○ 活動方針と反省
1. 青年部ニュース発行
○ 投稿希望
1. トライアングル会年2回開催 | 1. 同好会の運営
○ 旅行・スキー・釣り・ボウリング各同好会
1. 七丁目町会防火・防犯パトロール協力
1. 柏木コミュニティスポーツ運動会に協力
1. 近隣青年部との交流
1. 縁日開催 |
|--|--|

上記書類を監査した結果、相違がなかったことを証明します。

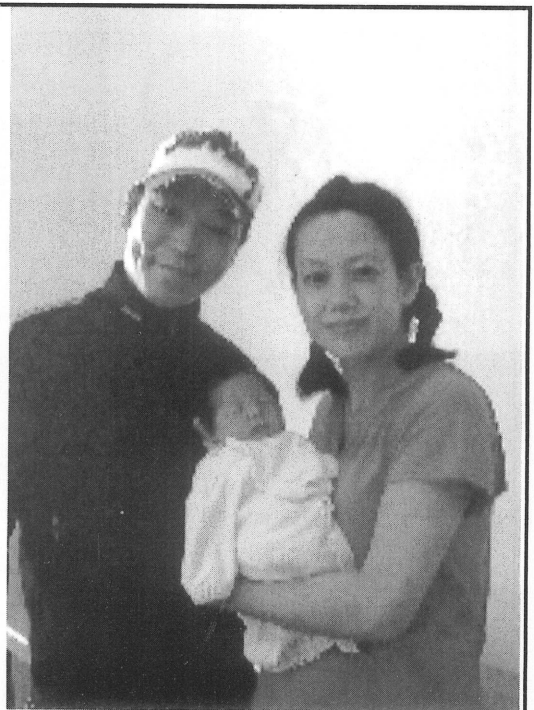
監査役 小野澤 崇
監査役 山本 雅康
監査役 石川 公久



堃垂くんと共にもうすぐ2児のパパ・ママになります



長男 一樹くん



わが子を授かって喜ぶ夫妻

我が子を授かって

石鍋 宏樹さん
彩子さん

我が家に新しい家族がふえました！ 9月21日13時39分に第一子「一樹（いつき）」誕生！「人として大きくなれ」と想いを込め名付けました。元気でうれしい男の子です。

妊娠が分かった時は、嬉しかったが実感が湧きませんでした。徐々に妻のお腹が大きくなるにつれ、お腹の中の赤ちゃんが成長と共に無事に育っているか心配でもあった……

いよいよ出産！産声を聞いて初めて抱っこした時、喜びや安心感が入り混じり、何とも言えない感情でいっぱいになりました。ふと妻の顔を見ると今までに見た事のない程の穏やかな顔で「これが母の顔か」と見入ってしまいました。

無事お宮参りも終わり、忙しくも楽しい毎日を家族3人で過ごしています。息子の成長と共に、自分達も親として学ばされています。これからも一樹共々石鍋家を宜しくお願い致します。

「一樹、パパとママのもとに生まれてきてくれて、ありがとう」元気にスクスク育ってね。」

わが子の紹介

我が子と自主防災訓練に参加して

中野 光徳さん
恵美さん

今年の自主防災訓練に初めて参加させて頂きました。雨模様予想に反し晴天の中、消防署の皆さんに色々教えて頂きました。柏木公園の中に消防車が停めてあり、3歳の息子と共にじっくりと眺めました。応急救護、特に人工呼吸を繰り返し見て、実際に人工呼吸をするのは照れてしまうのですが、心臓が止まってしまった人を前にして、そんな事は言っていられないと反省しました。三角巾を包帯として使う時の畳み方も教えて頂きました。完璧にマスターするまでには、至りませんでした。怪我がの手当をする時に、この事を思い出そうと思います。公園内で行われた炊き出しでは、沢山のおにぎりや「豚汁」を作って頂き、美味しく食べました。

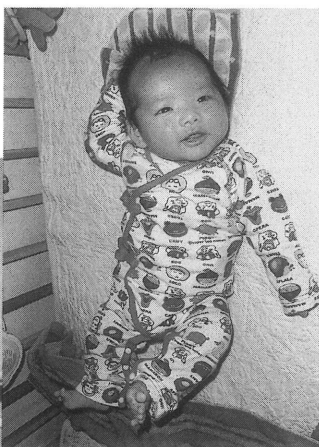
さて、今回自分は、小型ポンプを実際に動かす役を任せつかりまして、前々日から練習に参加しました。この役は、父も訓練していました。もうすぐ2児の父となる私も、訓練に参加させて頂き、七丁目町会の活動の歴史を感じました。小型ポンプ操作本番は、予定通りに無事に終える事が出来ました。実際に火事になった際に、消防署の皆さんと一緒に、消火作業を行う事を想像し、身の引き締まる想いがしました。

今回、自主防災訓練に参加し、応急救護及び消火作業を学び、災害に対する心構えを教えて頂いた事が自分としては大きかったと思います。

我が子を授かって

中村 和由さん
ゆかさん

我が家には、小学校2年生の娘「ひより」、3才の息子「暖」がいます。そして9月1日に待望の第3子「陽」が誕生しました！妊娠中からずっと、赤ちゃんは大きめだと言われていたのですが、3人目だし！と夫婦揃って楽観視していたところ、生れてみると3880gと本当に大きな赤ちゃんで、結果は一番大変なお産になってしまいました。普通ならば絶対に帝王切開で出産するサイズだったのですが、ひよりと暖が通って広げてくれた産道のおかげで、陽もなんとか無事に自然分娩で生れてくる事ができた訳です。誕生の瞬間！元気な産声を聞いたときはとても嬉しくて、改めて命のつながりや重みを感じ、感動の涙を流して喜びました。子供たちの成長は本当にあつという間です。一日一日を大切に楽しみながら、親として、一緒に成長していきたいです！



僕が「陽」です
親は喜びで
いっぱいです

ハッピーな！
中村和由一家の皆さん



ひよりちゃん

暖くん

祝

ご結婚! 報告します

岩本兼児さん
香織さん



皆様、大変ご無沙汰しております。加丸屋の兼児でございます。

只今、実家を離れ、日本不動産管理(株)というビルのメンテナンス会社にて6年目の修行の日々を送っております。仕事内容はとていいますと、現在は御茶ノ水にあります駿河台日大病院で清掃の責任者をさせて頂いております。

又、私生活におきましては、去年の10月31日ハロウィンにヒルトン東京で結婚式を挙げました。妻の名は、岩本香織(旧姓:箱木)といいます。出合いの場所は、西新宿のキーポイントです。

2人の仕事の都合上、世田谷区船橋に暮らしています。今は、西新宿を離れての生活ですが、一人前の男になって実家の加丸屋に戻り、皆様と再会することが今の自分の目標です。

今後は、夫婦共々よろしく願っています。

高橋 研さん
曉子さん

わたくし高橋研と妻・曉子(としこ)は2010年9月14日に無事に入籍いたしました。西新宿七丁目に住みはじめ、10年目にしてようやく人並みの幸せをつかむ事ができました。妻、曉子との出会いも、この七丁目です。さらに青年部の先輩の紹介ということもあり、「人の縁」というものが本当に大切なものだなと感謝しますとともに、この街に来てよかったと感謝しております。

ここで、妻・曉子について紹介させていただきます。

旧姓・神部曉子は群馬県富岡市出身。妙義山に囲まれた緑豊かな街で高校生まで過ごし、短大進学で上京してきました。卒業後、株式会社ワコールに入社し、以来会社一筋のキャリアウーマンです。東日本の百貨店売り場の教育担当として、さらには京都の本社と東京をいきまする、ハードワーカーです。仕事にやりがいを感じ毎日楽しく会社に通っております。

趣味はダイビング・ゴルフ・旅行等、アクティブな女性で、性格は明るく前向きです。家ではうっかり・おちょこちよいいな所もありますが、人なつっこい性格なので、見かけましたら声をかけてやってください!

七丁目に来て新しい生活がはじまりました。今後もみなさんと楽しく生活していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



「編集後記」

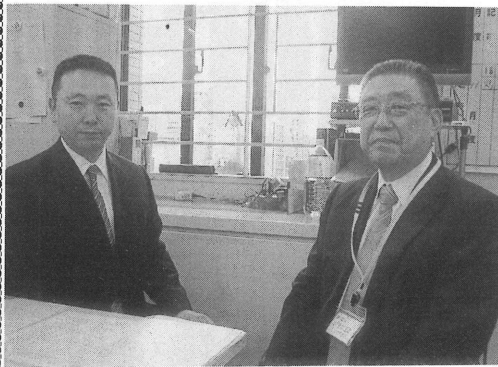
小野澤 崇

今号の「青年部だより」は全面に渡って、御祝いの記事を掲載する事ができ編集委員として本当に嬉しく思います。

この一年間の青年部はおめでたい事のラッシュで喜びあり! サプライズあり! と活気に満ち溢れている場面を至る所で目にすることができました。結婚・我が子の誕生が新たな自覚と責任を生み、そのポジティブな力が青年部の活動の源になっているのではないかと実感させられました。父親・母親がそうしてくれた様に、そうであった様に今度は俺達だ! そんな決意・心意気が若手部員の表情からもわかります。頼もしいではないか! 自分も頑張らなくては……(汗)

防犯部だより

新宿警察署生活安全課長 鈴木 宏昌



新宿警察署鈴木生活安全課長さんと池田さん

本年2月22日付で、警視庁生活安全部から新宿警察署生活安全課長に着任いたしました鈴木です。どうぞよろしくお願いいたします。

西新宿七丁目町会の皆様方におかれましては、平素から「安全・安心な街、東京」の実現のため、防犯パトロールや警察業務各般にわたり、ご理解ご協力を賜わり厚く御礼申し上げます。

さて、警視庁を上げての対策を実施中の「振り込め詐欺」につきまして都内では昨年後半から増加傾向にあり非常に厳しい状況にあります。その被害の傾向は、

○被害件数の約8割がオレオレ詐欺

○オレオレ詐欺の被害者は、60歳以上の高齢者で、女性が大多数であります。

当署管内の発生は、本年8月末現在で9件発生しております。数でこそ昨年と同数であります。気を抜けば、この数も増加に転ずると懸念をしております。

振り込め詐欺の手口は、

○急がせる・慌てさせる
「会社のお金を使い込んだ。」等と言って「今日中にお金が必要」と急がせる。

○誘い出す
「ATMの前から携帯電話で連絡してください。手続きを教えます。」などと言って、手続きするよう誘い出す。

○直接取りに行く
はじめに「これから取りに行く。」と言い、直前に「行けなくなった。代わりに会社の人を受け取りに行く。」などと言って、自宅へ直接取りに来る。

○キャッシュカードをだまし取る
警察官や銀行員などに成りすまして、キャッシュカードを変更する必要がある。」などと言って、キャッシュカードをだまし取り、暗証番号を教えさせる。

といったものが最近の手口です。

また、被害にあわれた方の話を聞きますと振り込め詐欺のことを知っていてもまさか自分がだまされると思っていないのが現状であります。

これら振り込め詐欺を防止するために警察としては、高齢者に対する粘り強い注意喚起と金融機関に対する働き掛けが重要であると考えており、当署では、個別訪問や各家庭への架電や金融機関と危機意識を共有しての防犯指導等を図っているところでございますので、引き続き皆様方の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

交通部だより

秋の全国交通安全運動実施!!

新宿警察署交通課長 坂倉 英一

「秋の全国交通安全運動を終えて」

本年4月1日付で着任しました坂倉です。よろしく願います。

春の全国交通安全運動は、着任直後でしたので、いわば手探り状態でしたが、先般実施された秋の全国交通安全運動では、期間中の交通事故の減少を目標として、署員一丸となって各種対策を講じた結果、前年同時期比で交通事故を減少させることができました。これも西新宿七丁目町会交通部の皆様をはじめ、ご協力いただきました多くの皆様のお陰と深く感謝しております。

折角の機会ですので、少々私の事をお話させていただきますと、前任は警視庁交通部交通執行課で勤務し、主に都内全域における駐車違反を除いた交通違反の取締りの企画を担当しておりました。交通違反の取締りという点と、どちらかといえば煙たがれる存在で、取締りの現場においては、違反者からしばしば文句を言われます。しかしながら、取締りに従事している警察官はどれほど文句を言われようとも、取締りをきつかけに違反者が交通ルール・マナーを守って運転することにより、悲惨な交通事故を1件でも減らすことができると確信し、淡々と取締りを行っています。

本年も他署管内で通学途中の小学生が自動車に轢かれて亡くなりました。この小学生の同級生は心の傷となつてしばらくの間、登校できなくなつてしまったという話も聞いております。

交通事故の怖さは、被害者はもちろん、被害者の家族、同級生、そして加害者と加害者の家族をも突然不幸にしてしまうことなのです。都内における交通事故発生件数は年々減少しておりますが、本年は昨年と比較し死亡事故が増加傾向にあります。死亡事故の特徴は、65歳以上の高齢者と原付を含む二輪車の死亡事故が多発しています。また、昨今社会問題となっている「自転車」の考え方が、自転車も車両であり、加害者となれば、被害者からの損害賠償義務が生じます。自転車の場合、殆どの方が保険に加入されていないこととなり、殆どの場合、実費で賠償することとなります。自転車を利用する際も、交通ルール・マナーを守り、他の歩行者や車両に十分注意して、交通事故防止をお願いいたします。なお、悪質な自転車利用者に対しては、交通切符（いわゆる赤切符）を適用して厳格な取締りを実施しております。おわりに、普段から皆様方にご理解、ご協力をいただき、新宿警察署管内では死亡事故が3年に亘り発生しておりません。引き続き、交通課員が中心となって署員一丸となり重大事故はもとより、交通事故そのものを減少させてまいりたいと考えておりますので、今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。



新宿警察署坂倉交通課長さんと石川さん

新宿警察署振り込め詐欺専用ホットライン

090-8684-9785



お気軽にお電話ください。詐欺なのか
本当の話なのか判断します。

秋の交通安全運動実施

交通部部長 石川 公久



交通部本部テント前にて新宿警察署長の激励を受ける

本年の春、桜の花の咲く頃に、前任の丸山さんから交通部長として新たに就任いたしました。以前は、青年部部長として、若手の中で町会の仕事に従事していましたが、気分を新たに交通部の部長として、親会の会員の方々と共に、活動に励んでおります。

交通部の主な仕事は、春と秋の全国交通安全運動と仲下睦祭礼時の交通規制が柱となっております。私が交通部長になって、その立場で交通安全運動の期間中の街頭活動を行ってみると新たに認識を持つことが、ありました。

歩行者ならびに自転車もそうですが、携帯電話、ウォークマンを使いながら、歩いたり乗ったり、通称「年ら族」が実に多いということです。注意力が非常に散漫になり、気配を感じることができず、安全確認を疎かにしている人が多いことに驚きました。

今、私たちが住んでいる社会環境は、機械や物に支配されており、便利であり、効率的かもしれませんが、身近にいろいろな危険が潜んでいるのかもしれない。いつでも、事件、事故の被害者あるいは加害者に突然なつてしまう可能性があるので、常に思いをします。

常日頃から、周囲に目を配り、急がず、慌てず、をモットーに心をかけ、楽しい日常生活を歩むことができるかは、みなさんの小さな心がけの積み重ねが大切になると思います。

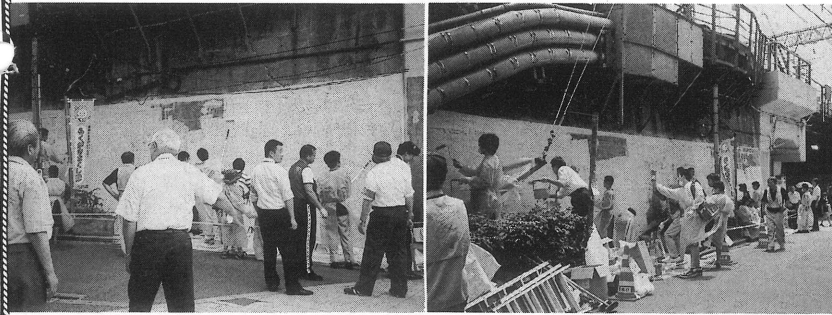
防犯活動報告

防犯部部長 池田 公保

- 1.「新宿繁華街犯罪組織排除協議会」
総会 7月9日(金) (株)損保ジャパン 大会議室
- 2.「景観対策」の実施
7月25日(日) 新宿大ガード西側のJR壁面
- 3.「万引き追放SUMMERキャンペーン」
～万引きをしない勇気とさせない社会～
7月28日(水) 東京芸術劇場・大ホール
- 4.「痴漢撲滅キャンペーン」
10月4日(月) 西口小田急百貨店 1階コンコース前
- 5.「全国地域安全運動」
10月11日(月)～20日(水)
- 6.「新宿区民地域安全のつどい」
10月11日(月) 牛込筆筈地域センター・区民ホール

※上記の行事には、町会長をはじめ、多くの町会役員の方々が参加、協力しています。

本年も恒例の「防火・防犯パトロール」を12月3日より実施致します。ご支援、ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。



景観対策の為、新宿大ガード西の壁面清掃協力

地域防災訓練

防火・防災部部長 藤田 清



藤田部長が先導して



初期消火訓練



自主防災訓練で炊き出しに協力 婦人部

今年も恒例の地域防災訓練が、10月17日(日)に西新宿中学校で実施された。約30名が訓練に参加されました。一時避難所である「柏木公園」に集合し、西新宿中学校まで移動した。開会式の後に訓練が実施された。初めは体育館で避難所受け入れ訓練です。避難された方々の名簿を作成しました。その後、日本赤十字社田中講師により「避難所生活及び自助・共助・公助について」の講義があり、避難所での生活は大変過酷なものである

と思った。校舎内を見学した後、備蓄倉庫前の廊下を使って煙体験をした。今回の訓練は「避難所を立ち上げる」訓練で、参加者は「避難所のイメージを持ったもう」内容でした。地震そのものを防ぐ事はできないが、いざという時に備えがあれば、地震による被害を少なくすることが出来ます。とつさの時にあわてないように、日頃の備えが肝心だと思った。

長寿部だより

長寿部部長 小野澤泰江

今年の夏は記録的な猛暑が続き、老若男女を問わず自己管理が何よりも大切な日々でした。その上ここ数年、世界中で起こっている天災は猛威を振るい、人々を脅かしています。

そんな災害時も含め、身近なことで不安を感じたことはありませんか。前回、こちらで紹介した地域包括支援センター「高齢者総合相談センター」が、新宿区内でオープンして半年。具体的にどのような活動内容なのか、新宿区役所高齢者サービス課高齢者相談係の主任の方を、直接お尋ねいたしました。

各センターには、就任ケアマネジャー、社会福祉士、保健師等がチームになり約10名ずつ常駐し、主に三つの業務でサポートをしてくれます。まずは、認知症や退院後の自宅療養での相談など、さまざまなことでも相談できる「総合相談支援業務」。お金の管理や契約等の不安に、成年後見制度を用いた手続の支援や、高齢者虐待の防止や悪質な訪問販売の不安に対応する、高齢者の権利を守ることが目的の「権利擁護業務」。寝たきりの不安や、一人でもお買い物に行きたい等、自立をして生活ができるように支援していく「介護予防ケアマネジメント業務」の三つになります。このセンターでは、わからないささいなことでも支援やアドバイスをしてくれるとのことでした。

「家族」とは「人付き合い」とは何かという人間としての道徳心が問われる残念な出来事が相次ぎました。高齢者には生活にくい世の中だからこそ、遠慮なくこの様な施設を利用するのも一つなのではないかと思いました。

尚、新宿区には百歳以上の方が現在130名いらっしゃいます。うち、今年百歳の53名には、総理大臣賞として銀杯と御祝状を、ご希望の方56名には、区長自ら直接手渡しで御祝金と御祝品が贈呈されました。長生きは、三文の徳ということですね。

新会員紹介

(6地区)

・鳥焼 鳥扇 豊田 進
西新宿七十六一十五
第一歯染ビル1F

計報

- ・平成二十二年四月十一日
村上ビル 村上頼弘殿 79才
- ・西新宿七一十一一十九
平成二十二年四月十七日
株サマリツ 指田幸三殿 78才
- ・西新宿七一十一一
平成二十二年七月七日
日販 田村 隆殿 86才
- ・西新宿七一十五一八
平成二十二年八月二十日
株オカダヤ 蛭川太郎殿 100才
- ・西新宿七一十五一十四
平成二十二年十月五日
タウンホテル 小林又蔵殿 99才
- ・西新宿七一十六一十五

編集後記

町会にとつてかけがえのない方々がお亡くなりになりました。ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

「47号」をお届けします。今号から感じた事は、将来の町会の運営を背負う青年部の活動が、活発である事は嬉しい限りであります。高層ビルを前にして、商業地域である町会ですが、人の関係は密接で親しみのある町です。青年部ニュースの記事の中で、「お子さんの紹介」が紙面を賑わせています。「安心・安全」な行政のまちづくり！にも負けない、未来の町づくりは、西七町会から発信と自負しています。どうぞ今後ともよろしくご指導、ご厚誼の程お願い申し上げます。

(記) 上野